

第 333 回研究報告会（9 月 29 日）

「文書のなかの障害者像」

八木三郎

「障害者」の表記を過去に遡って検証するなか、多くの「障害者像」を至るところで確認できる。

研究報告会では前半の部分で、平安時代末期から鎌倉時代初期に描かれた絵巻物に登場する障害者や当時の種々の奇病や治療法などの事例を紹介した。

また、絵巻物以外にも各地の民話や浄瑠璃の世界などにも障害者を題材にしたものがあるなど、庶民生活のさまざまなところで確認することができる。江戸時代では、人々が楽しむ俳句や川柳の分野でも障害者を題材にした句が詠まれている。人々にとって障害は奇異なことではなく、普通のこととして捉えられていたのではと読み取れる。

また、歴代の徳川将軍 15 人のうち、第 9 代将軍・徳川家重、第 13 代将軍・徳川家定の 2 人が重度の脳性マヒがあったことなども、日本に滞在した当時の外国人の手記などから紹介した。

後半の部分では、天理教の原典である「おふでさき」「おさしづ」、また『稿本天理教祖伝逸話篇』にある障害表記から縷々考察するつもりであったが、時間の関係で「おふでさき」における表記事例だけを取り上げた。意味的解釈については『おふでさき註釈』をもとにし、そこに筆者の解釈を加えて発表した。

第 21 回宗教倫理学会に参加

堀内みどり

10 月 3 日、標記学術大会が開催された。本大会は、当初天理大学を会場として開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、学会事務局が主導するオンライン開催となった。実行委員長は堀内が務めたが、実際の Zoom システムを利用した大会運営は、事務局が担当した。予定していた公開シンポジウム及び懇親会は中止となり、会員総会もオンライン開催となった。

学術大会のテーマは「『心』から宗教を問う」であった。これは学会の 2020 年度の研究プロジェクトのテーマ「『心』から宗教倫理を問う—日本宗教の現状と課題を中心に」に準じたもので、午前に 4 人、午後に 2 人が発表し、澤井義次氏が午前第 2 組の司会を担当した。参加者は 30 名。

研究発表後の会員総会では、評議員の改選結果が報告され、15 名で組織する新たな評議会のメンバーが承認された。その中から、新会長として京都大学の氣多雅子氏が選出され、会長挨拶。また、今回の学術大会まで会長を務めた芦名定道前会長が退任の挨拶を行った。芦名前会長は、新型コロナウイルス感染拡大という予期しない状況の中での、研究や学会運営、学会活動について触れ、特に夏の恒例活動となっている 1泊2日の夏季研修を1日の日程でZoomを利用して行ったこと、また、Zoom利用だった結果、ドイツ在住のカティア・トリプレット教授（ライプチヒ大学）がコメンテーターとして参加できたことに言及した。

なお、来年度通常の大会開催の場合は、天理大学を会場として開催予定である。

第 79 回日本宗教学会に参加・発表

堀内みどり

標記大会が、9 月 18 日から 20 日の日程で開催された。駒澤大学に大会実行委員会を設けたものの、新型コロナウイルス感染症予防のためキャンパスが使用できなくなり、研究発表と会議は Zoom を用いたオンライン（8 部会）開催（研究発表の一部は紀要号への要旨のみの提出）となり、さらには大会シンポジウムを YouTube による収録済み動画の限定配信に代えるといった開催形態となった。会員の参加登録者が 427 名、報道関係者等の非会員登録者が 6 名、シンポジウム動画の視聴回数 250 回以上（実行委員会発表）だった。大会シンポジウムの動画配信は 16 日（水）～20 日（日）の 5 日間実施された。

大会シンポジウムのテーマは「近現代日本の仏教—戦前・戦後のアジアにおける連続性と断絶—」で、「近現代のアジアという文脈において、日本仏教はどのような展開を見せたのか。アジア各地の仏教やその他の宗教とどのような接点を持ち、その出会いはどのように受け止められ、どのようなすれ違いや影響関係が生じたのか。またトランス・ナショナルな現象としての近現代の日本仏教は、戦前と戦後における断絶とともに、現在にまで至るどのような連続性を帯びているのか」という問題意識のもと、坂井田夕起子客員研究員（愛知大学国際問題研究所）、小島敬裕教授（津田塾大学）、ランジャン・ムコパディヤヤ准教授（デリー大学）の講演が動画配信された。

天理大学からは、澤井義次氏がオンラインで発表、堀内は紀要号への要旨のみの提出という形で研究発表を行った。発表題目は以下の通り。

澤井義次「井筒・東洋哲学とオットーの宗教論」

堀内みどり「イメージされる教祖像—『稿本天理教祖伝逸話篇』を読む—」

『グローバル天理』年間購読のご案内

原則的に新年度は 1 月号からとなっております。購読料については、送料のみの実費負担です。申し込みは、封書、FAX、メールでお願い致します（お電話での申し込みはご遠慮下さい）。毎月の希望冊数と、氏名（フリガナも）、郵便番号、住所、電話、FAX、E-Mail、職業をお知らせ下さい。申し込み受付後に振込み用紙を送付致します。切手・現金でのお支払いはご遠慮くださいますようお願い致します。振込みを確認後、発送させていただきます。

送料（ヤマト運輸 DM 便）

全国一律 167 円（角 2 封筒、重さ 1 kg〔約 20 冊〕まで）

【例】毎月購読 167 円 × 12 カ月 = 2,004 円

問い合わせ先：

〒632-8510 奈良県天理市柚之内町 1050

天理大学 おやさと研究所「グローバル天理」編集部

FAX 0743-63-7255

E-Mail: oyaken@sta.tenri-u.ac.jp